



TITLE:

支部通信

AUTHOR(S):

---

CITATION:

支部通信. 天界 1937, 17(194): 322-322

ISSUE DATE:

1937-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167470>

RIGHT:

## 支部通信

## 大連支部報告 (1月—4月)

◆時差撤廢 昭和11年12月31日、滿洲は23時で早くも元旦を迎へた。普通でさへ慌しい大晦日それが1時間も早くなるのだから、處々に悲喜劇を演ぜられたことと思ふ。

◆幹事會 1月4日事務所にて幹事會開催。本年の方針に付討議され第二段に入る。

◆新聞に依る天文教育 幹事に依り新聞に記事掲載しそれにより、一般天文教化を行ふこととなる。河合幹事の名により既に前後5回に涉り「滿洲日日新聞」に掲載し多大の反響あり。

◆滿鐵主催天文講演會 河合幹事と滿鐵總裁室福祉課の當事者間にて協議し、滿鐵主催にて天文講演を開催することに決定す。

具體案に付協會本部及福祉課との中間の勞を取り9月に山本會長の來滿を乞ひ開催とぼゝ決定す。

◆放送に依る天文教育 河合幹事に依り當地 J. Q. A. から4月11日「最近の日本天文學會と本年の天文現象」と題し放送さる。これも成功裏に終り反響あり。

◆滿鐵社員會機關誌「協和」に進出 河合幹事の手に依り協和に進出することになり第1回として5月號に「火星」と題する記事出る。この方面へ進出することに幹事會にて決定す。

◆支部改組さる 4月末幹事會開催され、席上全幹事より大連支部解散の議起り異議なく可決さる。而して滿洲の特殊性に鑑み滿洲所在の支部合體しここに大滿洲支部設立の議起り、河合幹事に白紙委任され、河合幹事より規程案承認さる。5月3日全支部員に挨拶狀發送さる。

◆滿洲支部 全滿洲を對象として高遠な理想の下に大躍進を續けることとなる。廣大な土地のため各地に分會設定さる。

◆例に依り協會員の方で御來滿の折は支部事務所迄御一報乞ふ。

支部事務所(大連東公園町滿鐵本社總福祉課氣付) 電話大連20—2381。

(12. 5. 6. 誌龍須生記)